

令和5年度 保健体育科（体育）シラバス

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 対象 単位数 | 1・2年 前期1単位／後期1単位 3年 前期2単位／後期2単位 |
|--------|---------------------------------|

体育

1・目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育てる。

- ①スポーツを継続するとともにスポーツの発展を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。
- ②スポーツの推進及び発展に必要な技術を身に付けるようにする。
- ③自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

2・体育の単位数 1・2年 前期1単位・後期1単位、3年 前期2単位・後期2単位

| 学年 | 体育 |
|----|----|
| 1年 | 2  |
| 2年 | 2  |
| 3年 | 4  |
| 4年 | 0  |
| 計  | 8  |

3・評価について

体育の評価は「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点の内容をもとに、各領域（種目）ごとに評価基準をつくり日頃の授業のなかで下の表にまとめた方法で評価を行い「成績」の資料とする。

統一した観点別評価を実施している種目（体力テスト・持久的運動）

| 観 点  | 知識・技能   | 思考力・判断力・表現力等   | 主体的に学習に取り組む態度   |
|------|---|--|---|
| 評価割合 | 1   | 1  | 1   |
| 体育   | 自己の体力や生活にに応じて、体力を高めるために合理的な運動の行い方を身に付けている。社会の変化とスポーツ技能の構造と運動の学び方、体づくりの意義と体力の高め方に関する基礎的な知識を理解している。 | 自他の課題を発見し主体的、合理的に運動の特性に応じた解決を目指して工夫している。<br>習得した技術を表現しようと努力している。<br>課題・疑問について、仲間<br>に伝え合い実践している。 | 知識・技術を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりするために、自ら学習の状況を把握し、学習を進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。<br>学習の目標が設定できている。<br>見通し振り返ることができる。 |
| 評価方法 | ペーパーテスト<br>パフォーマンステスト<br>記録会  | 行動観察<br>レポート・ワークシート<br>実技記録簿   | 行動観察・授業中の発言<br>ワークシート<br>生徒による自己評価、相互評価   |

## 学習項目・内容・学習のねらい

**体づくり運動：** いろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、各種の運動に関連する体力及び健康に関連する体力の向上を図る。

**陸上競技：** 自己の技術的・体力的課題を知り、その解決を図りながら記持久走、短距離録の向上を図る。

### (球技)

**ソフトボール：** 基本的な技術を身に付け、キャッチボールやバッティングの楽しみ方を理解する。

**サッカー：** 基本的な技術を身に付け、サッカーの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむ。

**バレーボール：** 基本的な技術を身に付け、チーム全員で協力してパスをつないで、相手コートにボールを送り、楽しくパスゲームができるようになる。

**バドミントン：** 各種フライトの特徴を理解し、正しく打てるようになる・簡易ゲームでラリーを楽しめるようになる。

**卓球：** 基本的な打ち方を身に付け、ラリーが続けられるようになる・簡易ゲームを楽しめるようになる。

**バスケットボール：** 基本的な技術を身に付け、バスケットボールの特性と戦術を理解し、ゲームの攻防を楽しむ。

**器械運動：** 回転・跳躍・腕支持の運動を行うことによって全身的な筋力をマツト運動養う。  
日常生活では経験できない運動によって、身体支配能力を養う。  
自己の能力に応じて目標を決め、技術を高める。

### 武道

**柔道：** 基本動作を身に付け、投げ技、固め技を使い、対人的な攻防を身に付け、自由練習ができるようになる。

**ダンス：** リズムの特徴を強調して仲間と対応することができる。

**フォークダンス：** 楽しく踊ることによって交流を深め、協力性を養う。

**創作ダンス：** グループ課題を設定し、計画的な練習や発表の仕方を工夫することができる